人権だより　第2号

きらり

熊本県立球磨支援学校
令和3年（2021年）12月

２学期★人権学習★中学部の取組み

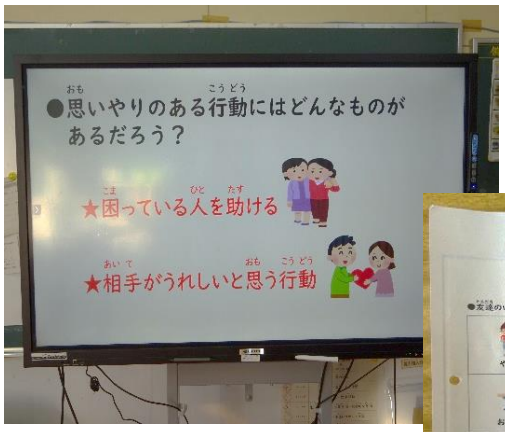
『ほめことばのプレゼントをしよう』

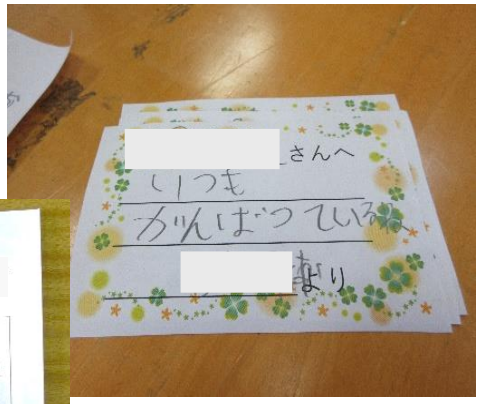
中学部の人権学習では、3グループに分かれて友達の良いところについて考える学習をしました。はじめに、スライドを見ながら、思いやりについて考えました。「思いやりとは何だろう？」の問いかけに、生徒からは「相手のことを考える」「友達に優しくする」等の意見が出ていました。また、〇×クイズ形式で思いやりのある行動について考えました。“友達の手伝いをする”には〇、“友達を仲間外れにする”には×と多くの生徒が正しい答えに挙手して答えることができました。

次に、友達の良いところを見つけ、プレゼントするカードを作りました。日常生活の友達の様子を振り返りながら、「〇〇さんはあいさつが上手だね。」と自分で考えて書いたり、“笑顔がすてき”“いつもがんばっているね”等と選択肢の中から選んで書いたり、イラストを貼ったりしました。そして、お互いが作ったカードを渡し合いました。

最後の振り返りでは、友達からカードをもらって「嬉しい気持ちになった。」と答えた生徒や、「自分にはこんなところがあったんだ。」と自分の新たな一面に気付いていた生徒の姿が印象的でした。

同じクラスの友達だけでなく、他学年の友達のことについても考える良い機会となりました。日頃から友達の良いところを見つけ、認めることは、友達も自分も大切にすることにつながります。これからも相手の気持ちを考えて行動する、思いやりの心を大切にしてほしいと思います。











新型コロナウイルスワクチンの接種に関連した人権への配慮について

国や県において、新型コロナウイルス感染症のまん延予防の観点からワクチン接種が進められています。一方で、体質や持病等の身体的な理由など、様々な理由によりワクチン接種をすることができない方や望まない方もおられます。ワクチン接種は、本人の意思に基づき受けるものであり、接種をしていない人に対して接種を強制したり、差別的な扱いをしたりすることがないようにしていきましょう。このことに関する熊本県人権同和政策課からのお知らせと熊本県教育委員会からの「新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別防止啓発」のお知らせを配付しますので、ご覧ください。

前回発行の“きらり1号”では、コロナウイルスの3つの顔（日本赤十字社）をご紹介しました。その他にも「ウイルスの次にやってくるもの」と題して、日本赤十字社からアニメーションが出ています。すでにご覧になった方もおられるかと思います。ウイルスの次にやってくるものとは何でしょう?それは・・・「恐怖」と述べられていました。不確かな情報をうのみにせず、立ち止まって考えること。非難や差別の根っこには、自分の過剰な防衛本能があることに気付き、冷静に、客観的に恐怖を知り、見つめれば、恐怖は薄れていくとありました。恐怖は誰の心の中にもいる、だからこそ恐怖に振り回されずに、正しく知り、正しく恐れることが大切だと思います。一部をご紹介しましたので、気になる方はぜひ日本赤十字社ホームページからご覧ください。

人権メッセージ　やさしさを広げよう～わたしの思いやり宣言～

「令和3年度(2021年度)人権メッセージ」の募集があり、本校高等部の生徒が数名応募しました。本校生徒の作品は惜しくも受賞にいたりませんでしたが、相手を思いやる気持ちを自分の言葉にするいい機会となりました。優秀作品30点は、県のホームページにも掲載されていますので、ぜひご覧ください。ここでは、優秀作品の1点をご紹介します!

だれにでも心はある。
でもその心は一人一人ちがう。
言葉の受け止め方も感じ方も違う。
自分はどうも思わない言葉だけど
相手はどうだろう。
言葉も心を傷つける凶器になる。
その凶器を使ってはいけない。
私はこれから言葉の重みをしっかり感じ
発信していきたい。

困った時は相談しましょう!



●熊本県人権センター



相談専用電話
096-384-5822

受付時間
月曜日～金曜日　午前9時～正午及び
午後1時～午後4時
※祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く

●子どもの人権110番



相談専用電話
0120-007-110

受付時間
月曜日～金曜日
午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日、祝日、平日の時間外は留守番電話